時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一部二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓○月賦休刊
○時事新報社ハ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料（前金）

	一日限	一日以上 六日迄	七日以上
一行五號活字廿四字詰			
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付
各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるのみ寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

外國品購買に就て

我輩は曩に我が直輸貿易を繁盛に赴かしむるの一策として日本商人が歐米諸國にて信用ある會社商店の代理（エージェント）となり其保證を受けて營業せんことを勸告すると共に政府を始め民間の大會社等にても外國の物品を要するときには此等商人の手を經て購ふの例を造り以て間接に保護せんことを促がせしが窃に案ずるに今日は正に其氣運の到來したる時節なるが如し抑も維新以來の新事業たるや概ね外國より舶來したる種類のものなれば慣れぬ事とて其處置取扱に外人の手を借るは止むを得ざる所にして立法上に行政上に將た諸般の學藝上に幾多の外人を傭使したるやは屈指に遑あらず何卒も其所説を參酌し其保證を得ざる限りは安心するゝを能はざるの有樣にして官民ともに只管れに重きを置き務に文明の利器と稱せらるゝ鐵道の如きに至ては之が設計を立つるの技師、之が敷設に充つるの材料は勿論事成りて運轉を始むるに至り機關車に石炭を焚く火夫さへも亦外人を以てしたるの始末にして邦人は唯手を束ぬるの外なき程なりしが是も亦當時の必要にして敢て爭ふ可きに非ざりしに爾來世運の進歩駸々として文明の智識動もすれば出藍の色を呈し隨從來外人の占領したる地位も若々我國人の代る所となりて今は唯二三の遺れるのみ遇す火夫云々の談の如き今日より回想すれば殆んど感の野蠻國の記錄に似て自家の事としも思はれざる迄に至りたるは亦賀す可きの慶事と云ふ可し此際我が商業は比較的に或は幼稚たるを免れざる可き歟なれども商人の伎倆經驗著るしく進歩して二三十年前とは全く隔世の觀あるは決して疑ふ可きにあらず内地雜居も忽るゝに足らずとさへ云ふ所なるに政府を始め世間一般の之を見るや其だ輕く又ふれを認むるもの明なく外國品購入の如き一小事件も依然として外商に依頼し内國商人を侮ひに足らずとて之を顧ふ所するとは誠に時勢不相應の沙汰にして俗に自家の畑に生じたる芋は甘からずと云ふに均しく其撫序せらるゝ者の身より考ふれば蓋し隔靴搔痒の感に堪へざるみどならん況んや是迄外國品購買を請負ふ外商なるものは果して誠實に購入者の利益を圖り良質廉價を求むるに注意周到なるや否や、其購入品には果して不合格のもの無かりしや否や、或は之あるも内外の事情通ぜざるが爲め忍んで受取りたるの場合等なかりしや否やとて世間の物論もなきに非ず假令ひ左程の不都合なしとするも我商人の手を以てすれば自然に斯る摸念も少なく殊に購買上の注意は一層深くして例へば材料の供給者及び時價の高低等も必ずや等閑に付するとある可らず即ち購買本人の大利にして蓋し政府にても民間の諸會社にても是れまで外商に委托したるは好んで之を爲したるにあらず内商の未だ不慣なりし當時に於て止むを得ず取りたる其先例は匆々二十餘年間を因襲し今猶ほ小兒を以て成人を目すればみを恰も擯斥するの姿となり人をして堪へ難く思はしむるに外なかる可し左れば今後は時勢の進歩に鑑み成る可く邦人をして新事業に當らしむるを旨とす可きに付ては差向き鐵道用材の如きイヅレ遠からず鐵道大工事に着手するみとなる可ければ其等の購買を臨として我商人が進歩の門出を祝し其行色を壯んにせんみとを冀望する者なり

官報

○警視廳告示第二號
北海道廳ニ於テハ東京府下ヨリ牛羊及其皮肉ノ輸入ヲ禁セル旨通知アリ
明治廿六年一月九日
警視總監園田安賢

○警視廳告示第三號
明治廿五年（十月）告示第十一號同年（十一月）告示第廿七號牛ノ出入往來禁止ノ件自今解除ス
明治廿六年一月九日
警視總監園田安賢

雜報

○銀貨問題列國會議　の經過に付ては既に十二月六日に至るまでの概略を記したれども同日は英國委員ロスチャイルド氏が提出せし議案即ち合衆國は引續き毎月四百五十萬オンスを買上ぐべく歐洲諸國は聯合して五箇年間一オンス四十三片の代價を以て一年五百萬磅相當の量を買上げ銀價若し其價格より騰貴すれば直ちに買上げを差止むべしとの議案を急に撤回せし日にして其報道は未だ要を盡さゞる所あるが故に改めて玆に記さんに氏が之を撤回したるは同じ英國委員ウイルソン氏の演説の後に於てしたるものなりウイルソン氏の説に英國はロスチャイルド案を考究する能はずと雖も其所説を參酌して其保證を得ざる限りは安心するゝを能はざるの有樣にして官民ともに只管れに重きを置き務に文明の利器と稱せらるゝ鐵道の如きに至ては之が設計を立つるの技師、之が敷設に充つるの材料は勿論事成りて運轉を始むるに至り機關車に石炭を焚く火夫さへも亦外人を以てしたるの始末にして邦人は唯手を束ぬるの外なき程なりしが是も亦當時の必要にして敢て爭ふ可きに非ざりしに爾來世運の進歩駸々として文明の智識動もすれば出藍の色を呈し隨從來外人の占領したる地位も若々我國人の代る所となりて今は唯二三の遺れるのみ遇す火夫云々の談の如き今日より回想すれば殆んど感の野蠻國の記錄に似て自家の事としも思はれざる迄に至りたるは亦賀す可きの慶事と云ふ可し此際我が商業は比較的に或は幼稚たるを免れざる可き歟なれども商人の伎倆經驗著るしく進歩して二三十年前とは全く隔世の觀あるは決して疑ふ可きにあらず内地雜居も忽るゝに足らずとさへ云ふ所なるに政府を始め世間一般の之を見るや其だ輕く又ふれを認むるもの明なく外國品購入の如き一小事件も依然として外商に依頼し内國商人を侮ひに足らずとて之を顧ふ所するとは誠に時勢不相應の沙汰にして俗に自家の畑に生じたる芋は甘からずと云ふに均しく其撫序せらるゝ者の身より考ふれば蓋し隔靴搔痒の感に堪へざるみどならん況んや是迄外國品購買を請負ふ外商なるものは果して誠實に購入者の利益を圖り良質廉價を求むるに注意周到なるや否や、其購入品には果して不合格のもの無かりしや否や、或は之あるも内外の事情通ぜざるが爲め忍んで受取りたるの場合等なかりしや否やとて世間の物論もなきに非ず假令ひ左程の不都合なしとするも我商人の手を以てすれば自然に斯る摸念も少なく殊に購買上の注意は一層深くして例へば材料の供給者及び時價の高低等も必ずや等閑に付するとある可らず即ち購買本人の大利にして蓋し政府にても民間の諸會社にても是れまで外商に委托したるは好んで之を爲したるにあらず内商の未だ不慣なりし當時に於て止むを得ず取りたる其先例は匆々二十餘年間を因襲し今猶ほ小兒を以て成人を目すればみを恰も擯斥するの姿となり人をして堪へ難く思はしむるに外なかる可し左れば今後は時勢の進歩に鑑み成る可く邦人をして新事業に當らしむるを旨とす可きに付ては差向き鐵道用材の如きイヅレ遠からず鐵道大工事に着手するみとなる可ければ其等の購買を臨として我商人が進歩の門出を祝し其行色を壯んにせんみとを冀望する者なり

は説を爲して米國が若し銀の買入を倹かに差止め印度が造幣局を閉鎖する時は其結果は大に銀の下落を來し商賈社會に恐るべき害毒を流すならんと云ふものあるも一方に於ては又其下落は既に甚しき度に達せり今日其勤搖を止むるの方法を講ずれば必ず停止するに相違なしと云ふものあり斯く諸説紛々たる中に於て如何なる策略を取らば可なるかフリーマントル氏及び予は純粹なる單本位主義を執るものにして英國が金貨單本位の制度を改めて他の制度を取るを許す能はずロスチャイルド案及びレヴィー案は共に我々の主義と合はざるものなれば吾々は飜れをも英國政府に向つて推擧する能はず左りながら本會に於て議すべきもの只だ此二案に限らず他にも名案あるみとあるべければ其提出さるゝを俟ち考究の上吾々の主義と齟齬せざるに於ては英國政府も亦特くに注意して同意せんみとを勉むるなるべし云々

次に米國議員マックリーリー氏は其困難危險に陥りし今日の有樣を演説し且曰く要するに原因は執れにあるにもせよ遠に救濟せざるべからざるは事實なり而してロスチャイルド氏が本會へ向つて注意を與へたるは謝する所なれども其議案には贊成する能はず歐洲諸國が一オンス四十三片に超えざる代價を以て五年の間年々五百萬磅相當の買入を爲す其對照として米國は一弗百仙に超えざる價格を以て引續き年々五千四百萬オンスを買入れ其價格以上に達すれば直ちに買入れを差止むるの策は他國は兎も角も米國の爲めに得策とするに足らず米國をして歐洲諸國が買入るゝよりも二倍の高を買はしめんとするは比例を失ふたるものと云ふべし蓋し本會の目的は定價以下に銀の價を定めんとするにあらず其使用區域を廣くして金との割合を千八百七十三年の如く恢復せしめんとするにあり左れば今日の危急を救ふには ロスチャイルド案よりも今一層區域廣く且一層適當なる方法を講ぜざるべからず吾々米國議員は疾くに此目的を以て兩金屬をして共に貨幣の職分を盡さしむるが爲め諸國の議員諸氏と協同せんと用意したり左れば吾々合衆國に於て贊成者の多き兩本位説を提出したるが上に議員其の意見に成れる議案をも提出したるなれ云々

次に印度議員モールスウォース氏は英國が金本位を以て其商權を得たりとの説を辨駁し同國の屢々危難に迫りて能く無事なるみとを得たるは只だ佛國の兩本位制度の爲めなり事の全體を論ぜんとする時は只だ金銀の上の利害のみならず工業の利害をも考へざるべからずとの趣意を演説し

次に英國議員ホーヴォース氏一案を提出し當日は閉會せり氏の議案は兩本位を贊成する諸國の間に其同盟を結び單本位を主張する國とは其造幣局をして一定の分量に下らざる地銀を買入れしむるに同意せんとするなるべし

○西洋蛇の演義（去六日の續き）　英國の詩人トーマス ロッツ云くソーヴァースと呼べる民は口中なる上顎に女王カサリーンの車輪を持てるも以て自分の蛇の毒を流すなりと女王カサリーンはアレキザンダアの王家の虐女にして紫帝マキシミナスの親戚なり給ひたる軍隊の祭に於て恐怖事取を信ずる習を傷げたる罪に由り個某ひりの道具の輪を車輪を以て責め殺されたる者なり越の水なるを飲む時は先づ己れの毒を吐て後ふれを飲むと云へり是れ己れを害せんみとを懼ればなり聖書に蛇は蛇使に耳を閉づると云へり根據なきに非ず蛇は物を聞く耳は外部に顯れたる穴で左まで銳敏とも覺えざれども左の歐洲生れの神は笛を吹きけるに數多の蛇を得ず之を吹止めたり笛を吹きけるに數多の蛇を得ず之を吹止めたりパラスと云ふて卵生なれども孵化すなり先きなる者は毒なり前に掃げし彼の無事の處に之を吐き出ふに此卵を腹中に孵化以てならん扨蛇に四箇所り如何にとなればフルの己れの體を食ふて生て神に歸るが如しとあり是れ第一の釋義より自然神の性なればなり此義日に與へしめ琅の蟾の第三重新を象れり蛇は鷲の之を持てる齒の岩の間に身を挾み出して之を懷に納れけるなり蛇は命の親なる彼の農人が神檀に蛇の形を刻ンス府に於けるアレーて當宮應護の精と名付スの魂魄の乘移り居りす」とは恩知らずの者たる言葉なり希臘人の二ぞ第四應護の精を象れ人が神檀に蛇の形を刻ンス府に於けるアレーて當宮應護の精と名付スの魂魄の乘移り居りす」とは恩知らずの者たる言葉なり希臘人の二